

スケッチかんさい



100年祭の新世界と通天閣

大阪のシンボル・通天閣が新世界100年祭で賑わっていると聞き、最寄りの地下鉄動物園前駅に向かう。ジャンジャン横丁に入ると、幸福の神様ビリケンさんと王将・坂田三吉を偲ぶ将棋道場が目にとまった。一日千円で遊べる道場は気さくな昭和の雰囲気満ちていた。通天閣の待ち時間90分の列を横目に、大衆演劇の朝日劇場の前に立つ。お蔭と石松の玄関ポスターに、秋祭りの田舎芝居を思い出し、客となった。湯島の白梅の名場面では、客席からは涙々。歌謡ショーでは、踊る女形に万札のご祝儀。大衆演劇は立派に生きている。通天閣展望台からの街は高層ビルばかりだが、足元の新世界は昭和のレトロな街であった。そして多くの串カツ店は、どこも平成の若者で一杯だった。

大阪市浪速区恵比須東2丁目(朝日劇場)

あつた ちかよし
熱田 親憲